

まちのキラリびと



きっかけは、自分と同じ子育て中のママ友の自由な働き方に憧れて

ふくいテレワーク女子 代表
後藤 美佳 さん

女性が自分の意志でスキルを発揮できる社会を創りたい

私たちは、テレワークやWebマーケティング（インターネット上の物やサービスの価値を高め、売れる流れを作ること）のスキルを使い、活躍できる女性を増やしていくことを目的に昨年の6月に活動を始めました。

テレワークの最大の魅力は、場所や時間を選ばずに自分に合った効率的な働き方を選択できることです。ここ2年ほどで私たちを取り巻く環境が変わり、多様な働き方に注目が集まっています。私たちのプロジェクトが、福井県ワクワクチャレンジプランコンテストで採択されたり、クラウドファンディングでも多くの方に応援していただいたりリアルでもネット上でも後押しをいただいています。

これから「ふくいテレワーク女子」として、スキルを磨きながらプロジェクトと一緒に進めていける女性を募集していく予定です。ぜひHPやFBをフォローしてください。

女性の活躍の場を増やし、継続して地域に貢献していくために、しっかりと地域のWebマーケティングを促進していきたいと思っていますので、応援よろしくお願いします。

HP



FB



まちの宝を発見！ つるが歴史遺産



案内人

学芸員 高早 恵美

お祭りはいつの世も
変わらぬ願いを
伝えています

▼参加者にゴクを配る様子



基本情報

種別：敦賀市指定無形民俗文化財

所在地：山



初午祭り(山区・稲荷神社)

少女が捧げるおゴクさんは
最後に皆で分け合います

京都の伏見稲荷大社が2月の最初の午の日に祀られるようになったことから、同様に全国に3万ある稲荷神社の多くで祭日となっています。

早朝よりゴクカキと呼ばれる男衆8人が冷たい水（かつては黒河川）で身を清めた後、ゴクカキと長老たちが鳥居から拜殿まで行列しますが、その中心はヒトミゴクと呼ばれる少女です。ゴシモトと呼ばれる女性が付き添い、ゴクカキが持つお供えの入ったおひつの下を進みます。神事が済むとゴクカキは一般の参加者にこのゴク（黒豆の入ったごはん）のおにぎりを配ります。女の子はかつて村を襲ったヒビを鎮めるための人身御供役を再現していると伝えられています。

一方で、敦賀を含む若狭地方一帯の古いお祭りでは、お供えの近くを歩く女の子の役割が多く見られ、お供えを捧げる役割が女性であった名残ではないかとも考えられています。

山区の稲荷神社は伝統的な氏子組織を今に残しており、氏子の長老は加入の古い人から一老、二老、三老と呼ばれます。かつてはこうした年齢階梯制的な村落秩序を持っていた地区も多かったです。

広報担当者の
つぶやき

今年の成人式は、コロナ禍での開催のため、感染対策を徹底し、いつもと違う式となりましたが、久しぶりの友人たちとの再会を喜ぶ新成人たちの笑顔がたくさん見られました。これからそれぞれの未来に向かって、大きく羽ばたいてもらいたいです。記憶の遥か彼方にある自分の成人式のこともおぼろげながら思い出し、懐かしむことができました。(K)

今号の表紙は、春のセンバツ甲子園出場を決めた敦賀気比高校野球部の皆さん。発表があった当日は、雪が降り積もる中、たくさんの記者が取材に集まりました。記者が多く集まる取材では、撮影のポジション争いが激しくなるため、私も負けじと大きめの脚立を持って参戦。必死になって撮影した1枚です。(M)